

2024年12月2日

「巨樹・古木の診断イベント」実施について

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、一般社団法人 日本樹木遺産協会（代表理事 森 義仁）への協賛を通じ、地域の財産である**巨樹・古木の保全**に取り組んでいます。

今般、2024年10月に（一社）日本樹木遺産協会による**巨樹・古木の診断イベント**が実施されましたので、お知らせします。

診断イベントは、鹿児島県大島郡瀬戸内町の加計呂麻島にて行われ、さまざまな世代の方が参加されました。集落沿岸約300メートルに立ち並ぶ、樹齢300年余りの「デイゴ並木」の一部を、樹木医が専用の計測器を使用し、内部がどのくらい腐朽しているかを調べました。

診断結果はおおむね良好でしたが、2008年に病害虫被害が確認され、85本あったデイゴは62本まで減少しています。並木全体では予断を許さない状況であることから、当社は、（一社）日本樹木遺産協会への協賛を通じ、樹木医による定期的な診断・治療を行ってまいります。

当社は今後も、社会の一員として豊かな社会の実現につながるよう、地域に根ざした社会貢献・環境保護活動に努めてまいります。



診断イベントの様子

[本件と関連性の深いSDGsテーマ]



目標 11
住み続けられる
まちづくりを



目標 13
気候変動に
具体的な対策を



目標 15
陸の豊かさも
守ろう

以上